

## オンライン・オンデマンド授業における「生活と福祉」の授業改善について — 2019年度から3年間の取り組み —

小田 良枝

(名古屋芸術大学 人間発達学部 子ども発達学科)

### 1. はじめに

筆者は、全学総合共通科目の横断科目群として、「生活と福祉」を担当している。この科目は、筆者が日頃担当している人間発達学部の学生のみならず、音楽領域・芸術教養領域・美術領域・デザイン領域の学生が選択科目として受講している。この授業では、社会に出る前に、多角的な視野で物事を考えることができるような知恵を学び自立、自律を育むきっかけになる内容でありたいと考え以下のSDGsに則したシラバスを作成した。

「生活と福祉」のテーマは「人間は、生まれて死ぬまで生活し、社会的な福祉に関わっている。戦後、経済的に豊かであったはずの我が国では、近年、子ども5人に1人が貧困に喘いでいると言われている。また、2020年の世界的な新型コロナウイルスの大流行の影響で、『新しい生活様式』を日常生活に取り入れて生活するようになった。社会生活のみならず、経済においても大きな影響が出ている。

講義の中で、昭和から令和の時代の歴史や福祉制度などから『命』について自分で考え、今後の自分の生き方を多角的に考えるきっかけとする。」としている。

授業の概要として、「感染症対策、戦争(長崎原爆投下)、貧困、命、子ども、災害時対策など学びを深め、自分の今後の生き方について考えていく。具体的には、それぞれのテーマについて学び、関心のある内容について深く調べるとともに、多角的な視野から『生活と福祉』について考える。これからの社会を担う自分たちや子どもたちのための、子ども子育て新支援制度などの福祉制度があることを知る。また、最近の自然災害や犯罪から自分や周りの身を守る術を学ぶ。」とし、毎回視点を変えて学

んでいく事とした。

今回、2019年からの授業経過及び2021年のオンデマンド・オンライン授業、出席課題の実践報告をする。

### 2. 授業の構成

筆者は、本授業を2019年から担当している。

2019年からの授業の振り返りを記載する。

#### ① 2019年度

対面授業であった。授業内容は、行政の福祉支援の内容や保育に関わる内容を取り入れた。学外授業を1回取り入れ、昭和日常博物館へ見学に行った。昭和の生活用品や自動車を実際に見て、現在との違いを理解した。また、特別講師(日本赤十字社の職員と地域のボランティア)による授業も取り入れた。具体的内容として、東日本大震災時に日本赤十字社の看護師として派遣された際の対応と災害時訓練を体育館で行った。

他の授業は講義形式であり、社会福祉制度や児童福祉について学び、社会に出たときに役立つ福祉の内容を取り入れた。

15回目の授業では、「生活と福祉」に関わる内容について、自分でテーマを設定した内容でのレポート課題を行った。

#### ② 2020年度

新型コロナウイルスの影響もあり、キャンパス間の移動による学生の交流を防ぐ、学生が密になる環境を防ぐ目的もありオンライン授業で行った。学生が約100名受講していたため、初回及び外部講師の授業、課題の発表は、オンライン授業で行った。その他の授業は、オンデマンド形式とした。

初回、オンライン授業を行ったが、Wi-Fi 環境による接続の不具合や課題の提出が難しい状況が認められた。具体的には、学生が課題を提出しても、提出が確認できなかったり、未提出としてクラスルーム上に提示される場合があった。その為、学生からの報告がないと課題未提出になっている場合が認められた。その為、オンライン授業でないで成り立たない授業以外は、オンデマンドの資料を作成し、課題を Google フォームで提出し、出席確認も兼ねる様式とした。また質問コーナーを作成し、学生が困ったことを書き込むことができる項目も準備した。

最終課題は、授業の内容や自分が日頃の生活の中で気が付いた「生活」「福祉」に関わることを、自分でまとめ、スライド、ポスター、写真、製作物などで自由に発表することとした。学生の発表する日をあらかじめ指定し、オンライン授業の際に発表する形式をとった。

### ③ 2021 年度

新型コロナウイルスの影響により、オンライン・オンデマンド授業となる。今回の学生の受講生は128名であり、昨年度の経験から、オンデマンド授業の内容の質や Google フォームの内容を見直し、学生の意欲が促されるよう、フィードバックできるフォーム内容の見直しを行った。授業資料は、自分で作成したものほかに、内容に合わせた動画や書籍などを紹介し、スライドと共に学ぶことが出来るようにした。

第12回のみオンライン授業を行った。その場で学生と共に実践する取り組みを行うためである。授業では、「易経」についての成り立ちを学んだ。「易経」が古代中国の帝王学であった四書五経の一つであることを知り、一人一人が自分の課題をコインの裏表を用いて「易」を行い診断した。

また、最終課題は、第13回から3回に分けてみんなの課題を視聴し、自分の学びにつながるような授業構成とした。課題は、作品、スライドなど自由

形式とした。第12回のオンライン授業の際とクラスルーム上に見本を掲載し、課題の内容が伝わるような工夫をした。また、Google 上で課題提出先と授業回がリンクするように作成した。具体的にはドライブのクラスルームの資料を共有し、リンク先をストリームで知らせることで全員の課題を視聴することが可能になった。この方法は、パソコン操作に詳しい教員から学び、学生が一番共有しやすい方法で取り組むことができた。

### 3. シラバスについて

シラバスの内容は、前年度の授業内容のみならず学生の振り返りの記述内容から内容及び課題を再考した。また、世相に合った内容を加えるようにした。

シラバスの説明や授業方法については、第1回はオリエンテーションの動画を作成し、授業の意義を理解して参加できるようにした。テストではなく、最終課題があることも伝え、期限の確認をした。以下の図1に2021年度のシラバスを示す。

回	内容
1	オリエンテーション「生活と福祉」 とは？ ・シラバス説明 ・昭和日常博物館
2	感染症対策について ・感染症対策と5エス ・愛知県手洗い動画
3	・妊娠と出産 ・母子感染症について
4	第二次世界大戦について ・長崎の原爆投下 ・ある家族の歴史から
5	保育所・幼稚園・こども園について① ・子どもの権利条約 ・こども子育て新支援制度
6	保育所・幼稚園・こども園について② ・保育所・幼稚園・こども園

7	保育所・幼稚園・こども園について③ ・いろいろな保育現場（家庭内保育・病児保育・乳児院など） ・ホスピタル・クラウンの活動について知る
8	貧困について ・世界の貧困 新聞記事からニジェールの例 ・貧困とは？ホセ・ムヒカの言葉
9	生きることは食べること ・「命のものさし」について ・さまざまな命の取り組み
10	世界の食料難について
11	災害時の対応について ・自助・共助・公助 ・日本赤十字社の活動を学ぶ
12	易経について 課題の作成について。確認など
13-15	最終課題 発表

図1) 2021年度 シラバス

#### 4. 倫理的な配慮

学生に、授業内容や課題、経過などを実践報告として発表する旨を伝えた。評価には一切関係ない旨を伝えた上で、提出した授業課題の掲載やデータの引用を望まない学生の内容は削除することを伝えた。授業期間内に協力の有無の確認ができるようにした。

#### 5. 2019～2021年の授業内容

##### ① 第3回 妊娠の経過と胎児の発育から、母子感染症について

妊娠や出産について取り入れた理由は、性についての正しい情報が認知される機会が少ないのではないかと考えたからである。

予習として、自分が生まれてきた時のことを保護者に尋ねることを課題とした。意図は、自分の「母子手帳」を確認し、自分の育ちを理解することや生

まれた時のことについて保護者と話をする機会を持つためである。

妊娠の経過については、生殖から妊娠の診断方法や内容、妊娠の経過、分娩方法について具体的に理解できるようにした。妊娠の経過の画像は、筆者の元同僚で現在妊娠中の方より、妊婦検診で得た動画や映像を提供してもらい、学生の学びとして使用することが出来た。その為、最新の医療機器での胎児の画像を診ることが出来た。

分娩の説明の後で、いのちの尊さを伝えた。それとともに、現在、生まれてくる子供の14人に一人は人工受精児であることから、代理母・代理出産についての定義についての説明もした。子どもを授かる、子どもを育てる事について、自分のことと捉え考える機会としていった。

母子感染症については、妊娠中にリスクが起これる性感染症についてまとめていった。

母体が感染していることからどのようなリスクが母体、子どもに考えられるのか、また、どのような感染症があるのかも症状を画像で示し伝えるようにしていった。自分の行為や行動について考えるきっかけとなるように工夫した。

##### ② 第4回 長崎の原爆投下について

筆者自身が被爆者二世であることから、長崎の原爆投下を取り入れた。子どものころから被爆の恐ろしさを母親から聞いて育ったとともに、小学3年生の時に夏休み40日間を長崎の祖父母の家で過ごし、原爆記念日を長崎で経験をしているからである。2020年の原爆記念日の長崎新聞と共に送られた原爆の日の伯母の回想の手紙が、授業に取り入れるきっかけになった。戦争の家族の物語と動画資料から学びを深めていった。

##### ③ 第7回 入院している子どもたち、ホスピタルクラウンの取り組み、医療的ケア児について

入院している子どもたちについては、筆者の研究テーマである「医療的ケア児」のみならず、いろい

ろな病気の子どもたちが、病院で過ごしている現状がある。病院で過ごす子どもたちのことを知る機会になってほしいという願いから取り入れた。また、名古屋市に会社があるホスピタル・クラウンの団体「プレジャー企画」が、ボランティアで行っている小児病棟への訪問活動も取り入れ、活動について理解を深めてもらいたいというねらいがあった。2020年は特別講師としてホスピタル・クラウンにオンライン上で、講演を行っていただいた内容も伝えた。

#### ④ 第9回 命のものさし、命の教育について

命の教育については、いろいろな取り組み方があると考える。例えば、保育所等では、野菜の栽培など食育の取り組みとつなげていく方法がある。

この授業のねらいとして、動物園の展示された命（象の出産）と家畜（鶏や豚、牛）、ペットの命の違いについて知ることや聖路加国際病院の故 日野原重明先生の「命の授業」などから学んだ。そして、命の教育として、ある高校の授業の取り組みを学んだ。高校生が、卵からかえした鶏を自分で調理し、食すところまでのドキュメンタリーを視聴した。肉の塊や調理された肉しか知らない学生が多い中、自分たちが何を食べているのか考えるきっかけとしてほしいというねらいから取り入れた。学生には、視聴していて気分が悪くなったら視聴を中止するように伝えた。その際は、出席課題に記載するよう伝えた。2020年度の学生は数人から気分が悪くなったと連絡があった。連絡があった学生には、課題のコメントを通じて体調確認をした。2021年度は、体調不良の連絡はなかった。

#### ⑤ 世界（日本）の食糧難について知る

この授業では、世界の食糧事情を理解し、今後の人口増加に伴う昆虫食の具体的な取り組みを学んだ。その上で、現在の日本の食糧事情を世界の視点から学び、日本国内の生産状況を理解した。日本が食糧難に陥る具体的なケースについても学んだ。また、筆者が現場で実践した保育所での食育の学びの

一例として、「だし」で味わう和食の日の取り組みと子どもたちに教える食具の持ち方を学んだ。

#### ⑥ 青少年赤十字防災教育プログラム いのちを守るための気付きについて

災害時を想定した取り組みとして、日本赤十字社の歴史や取り組みについて学んだ。2019年には特別講師として、日本赤十字社の職員と地域のボランティアの方から避難時の生活の知恵の実践を受けた。2020年からは、日本赤十字社の資料などを基に、「自助」「共助」「公助」の意味を理解し、「自助」について一人一人が認識できるような事例を取り上げながら授業を展開していった。日本赤十字社の資料を活用し、大学内の緊急時の対応について理解を促していった。

#### ⑦ 「易経」について

「易」を「生活と福祉」の内容として取り入れた理由は、古代の知恵として、現代も経営者が四書五経を学んでいる現状があるからである。四書五経の中の「易経」について、歴史を学ぶ。その後、現代社会を乗り越える知恵の一つとして「易」に取り組んだ。現在の自分の悩みをコイン占いで実践した。

#### ⑧ 最終課題について

2020年は、オンライン授業の中で発表の時間を一人2分と設定し、行った。オンライン上ではあるが、学生自身の発表の機会となり、オンライン上での見せ方を工夫する姿など見られた。オンライン上で視聴後、Google フォームに感想など出席確認も兼ねた課題として提出する様にした。しかし、音響機器の不具合やスマートフォンでの受講やパソコンが不得手の学生は課題提出や作成方法など困難な部分が見られた。オンライン授業では、時間内に発表が終わらなかったことやWi-Fiの接続によりうまく発表できなかった学生がいた。また、学生の課題そのものを提出する形にしなかったため、作品など見直したい部分もあったが、授業のみでの評価

となった。これらの反省を2021度の授業に活かした。

2021年は、前年の反省から、履修者数が決定後、最終課題の発表や提出の方法などを考えた。学生自身の学びに繋がり、お互いの作品を視聴することが十分に学びになり、筆者が丁寧に作品を評価できるような仕組みを考えた。

以下に2021年の最終課題についてまとめる。

① 学生の学科及び受講人数

学 科	人 数
芸術学部 音楽領域	78
芸術学部 デザイン領域	28
芸術学部 美術領域	16
人間発達学部 子ども発達学科	4
芸術学部 芸術教養	2

② 学年

学 年	人 数
1 年生	1
2 年生	62
3 年生	52
4 年生	13

③ 最終課題のテーマ分類

	内 容	人 数
1	食べ物・食育・昆虫食	34
2	命	14
3	貧困	14
4	戦争・原爆	9
5	子ども・クラウン・保育	9
6	コロナ	3
7	災害・日赤	2
8	その他	7

④ 発表方法

	内 容	人 数
1	レポート	45
2	作品	30
3	スライド	24
4	音声（音楽、朗読）	2

⑤ 作品例

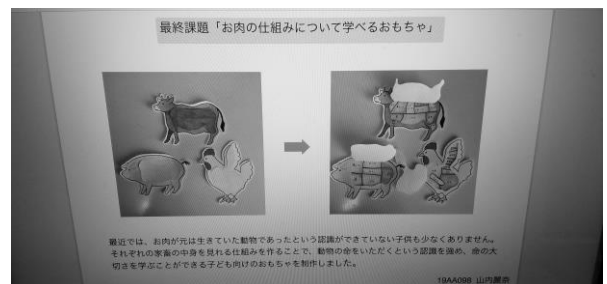
スライド



ポスター



作品



## ⑥ 出席課題の一例

「感染症対策などでおおすすめの動画や資料」を学生に出席課題とした際は、25例(資料1)。「食育や食べ物の大切さに気が付く漫画や資料」を出席課題にした際には、絵本、映画、アニメ、ドキュメンタリー、YouTubeチャンネル、音楽などの報告があった(資料2)。

## 6. 第15回出席課題の一例

問 「作品から理解したこと、心が動いた内容など、感想や自身の考えを記載してください。」という課題に対して、以下の記載があった。

①13回、14回と違ってきのせいかもしれないですけどなんか目を向ける観点が15回だけ違ったような気がしました。例えば駅とかにおる黄色のバリアフリーのやつとか保育園?の子どもとの接し方とかも見なかった気がします。最後までもうみんなの作品を見ることが出来なくなってしまうのが悲しいです。いろいろ見るのが楽しかったので楽しみが1つ減った感じです。また、こういう機会があれば今回のみんなの提出物を参考に考えたいと思いました。

②第15回の最終課題はスライド形式が多かったが、やはり資料内の文字や画像は揃えておいた方が読者にとって見やすい資料になるなど感じた。特にフォントの違いで印象がガラリと変わるため、その資料に合ったフォントや文字のサイズにすることの重要性を学ぶことができた。

③この大学に入って、初めて発表をするという事で自分は何を発表しようかと思っても、悩み考えましたが、他の人たちの考え方や、印象に残るところは、自分とは当然違い、違う見方で誰がどのように印象に残り思ったか、共有出来たことがとてもいいと思いました。また、特に命の大切さを改めて実感しました。私達が今住んでいる世界

は、人以外の生物は、大変な環境で生きています。人間だけでなく、他の動物にも、もっとしてあげべきことがあるのではないかと考えました。

④15回の皆さんの課題には、子ども食堂や幼保における子どもへの接し方、児童虐待について、保育の制作物等子どもについて調べている方がたくさんいました。…(略) まだまだその状況は変わらずに、生活と福祉の授業もオンライン、オンデマンドの形で行われました。でも、だからこそ受講生全員分の最終課題を拝見することができ、様々な考え方を知ることができました。とても良い学習ができたと思います。

⑤町中にあるバリアフリーに関する作品をみて、子どもからお年寄り、体に障がいを待ってる方全ての方が過ごしやすい環境を作るには必要不可欠なものだとかんじた。作品を見てから実際に町中を観察してみるとバリアフリーのもの、ユニバーサルデザインのものも多くあるが、ちょっとした段差や点字ブロックが繁華街にしかないなど見直していくべき点も見つけることができた。他の方の作品も興味深いものが多かった。

## 7. 終わりに

2020年度にオンライン授業が始まった際は、どのように進めていったらよいか見当もつかず、試行錯誤の連続であった。毎回、授業の振り返りを行い、スライドの内容、課題の出し方、質問の仕方など学生の反応を基に改善していった。特に、出席課題に対してのコメントは、毎回学生の気付きや筆者の感想を授業時間からその日中に返信するようにした。

オンライン・オンデマンド授業の利点としては、課題を学生自身の得意なスキルで提出できることや表現の幅が広がることが明らかになった。課題の出し方により、一人一人が課題に向き合うことができることや課題へのコメントの出し方により学生

の意欲につながることも認められた。

また、課題提出がファイルとして Google 上にまとめられるため、課題の確認や把握が適切に行うことができた。Google の使い方を理解していくことで対面授業以上に効果的な資料が作成でき、学生の主体的な学びにつながることを認められた。

しかし、学生の反応を確かめながら進めていく授業や協同作業、体験学習などは、実際に関わって授業を進めることが出来る対面授業が効果的であると考えられる。

今後も双方を効果的に活用し、より授業が充実するような取り組みを今後も考えていきたい。

最後に、受講学生から最終課題の内容が良く授業内発表では勿体ないという意見があった。最終課題の発表方法や授業成果としての発表の場について、東キャンパスにあるアート&デザインギャラリーが使用できることを2022年1月に広報の方から教えていただいた。来年度の発表方法として取り入れていきたいと考える。

## 資料 1

### 第 2 回 生活と福祉 「感染症対策などでおすすめの動画や資料」

1. <https://youtu.be/SQ-FEiDVuaE> ビオレ U あわあわ手洗いの歌
2. 茅野市のデルタ株の資料
3. ジャニーズの Wash Your Hands という動画 <https://youtu.be/30O5zq1PBIM>
4. ユーチューブ 薬剤師まるやまのおくすり チャンネル コロナウイルスの治療薬説明動画
5. 厚生労働省の動画 「新型コロナウイルス感染症対策」
6. <https://youtu.be/4LaMR2kdu0s>
7. <https://youtu.be/hFDdYVi-slk>
8. [https://www.youtube.com/watch?v=J7qbY\\_dfHcM](https://www.youtube.com/watch?v=J7qbY_dfHcM)
9. <https://3lion.younganimal.com/poster.html> 漫画家の羽海野チカ先生が手洗いを促すポスター
10. <https://www.youtube.com/watch?v=LPYX2NQoBQg>
11. <https://youtu.be/p-gQfmXlZQ8>
12. ゆうがたクインテットの中に出てくる「手あらい数え歌」  
よく理解しています。今後も学びを実践に繋げてください。
13. <https://www.mhlw.go.jp/content/000501120.pdf>
14. 京都府の HP 学生向け新生活様式実践アニメーション
15. <https://youtu.be/X8741qt1pgw>
16. 東京都のユーチューブチャンネル
17. YouTube の rikenchannel というチャンネルの「教えて!新型コロナウイルス」
18. しゅんしゅんクリニック P チャンネル  
<https://youtube.com/c/%E3%81%97%E3%82%85%E3%82%93PChannel>
19. 日本赤十字社の感染症対策動画
20. 文部科学省が提示している「やってみよう!新型コロナウイルス感染症対策 みんなでできること」と言う子供用の動画があります。( <https://www.youtube.com/watch?v=219-OtHGje8> )
21. <https://youtu.be/ZqT6WrKXBAs>
21. ピコ太郎さんの PPAP-2020- PPAP の手洗いバージョン
22. 小池百合子さんのユーチューブ動画
23. [https://twitter.com/covid19times\\_pr/status/1426358640353501188?s=21](https://twitter.com/covid19times_pr/status/1426358640353501188?s=21) コロナウイルスの株の違いについて、わかりやすいと思った記事でした。
24. YouTube のしまじろうのこどもチャレンジ
25. 【健康戦士コロタイジャー特設サイト】 <https://mt-100.com/corotaiger/>

## 資料2

生活と福祉」第10回 食育や食べ物の大切さに気がつくマンガや資料など

1. 食戟のソーマ (アニメ第3期の一話で、食の温かさが人の心を動かすことが描かれています)
2. 火垂るの墓
3. 給食番組 (絵本)
4. 『もったいないばあさんのいただきます』作・絵/真珠まりこ
5. 『しんでくれた』詩/谷川俊太郎、絵/塚本やすし
6. 北斗の拳
6. 銀の匙 Silver Spoon 作, 荒川弘 出, 小学館
7. この世界の片隅に
8. こびとさんの4つのおさら (絵本)
9. ゴールデンカムイ
10. アンパンマン
11. おいしいおと (絵本)
12. Youtubeで「へんないきものチャンネル」
13. アニメクロロ軍曹 135話後半 お米の一生を追体験するとここでその1粒に込められた農家の人の想いが分かり、残さず食べ切ろうという話。  
11/25 21:00位までYouTubeで見れます。
14. スーパーサイズ・ミー
15. あまくない砂糖の話
16. 世界危機に関するドキュメンタリー映画。
17. はだしのゲン
18. トリコ (漫画)
19. 玄米せんせいの弁当箱
20. Eveという方の「いのちの食べ方」という曲
21. 「パパと親父のウチご飯」(作者:豊田悠)という漫画
22. 「マスター・シェフ・ジュニア」は、8歳から12歳までの子どもたちが料理を競うバラエティ番組
23. 「エラゴン」
24. <https://youtu.be/rFaA87FGNjw> 人間と動物の立場が逆だったらという風刺画集です。
25. <https://youtube.com/playlist?list=PLnq6Zem-vrQDE35aiEk-BbD4TlgwcCimW> 寄食ハンター 鬼頭丈二
26. 進撃の巨人
27. 美味しんぼ
28. 甘々と稲妻
29. パパと親父のウチご飯
30. 「Dr. STONE」
31. モンキーピーク
32. 働く細胞
33. のうりん
34. 東京喰種